



一般社団法人北海道中小企業家同友会 オホーツク支部

OKHOTSK VISION

～ オホーツクの未来を創る19の方針 ～

説明資料



OKHOTSK VISION
オホーツクの未来を創る19の方針



オホーツクビジョン策定の背景

オホーツクに迫る外的影響や地域が抱える課題に対し、都市部にはない魅力や強みを見出し活かすことが急がれている

背景とオホーツクの抱える課題

経済のグローバル化

人口流失

少子高齢化社会

事業承継問題

人口減少社会

人材不足

オホーツクの強み

豊かな一次産業

貴重な自然環境

観光資源の可能性

オホーツクビジョンの概要

「幸福度の高い持続可能な地域社会」というビジョンを共有、目指すべき姿を具体的にイメージすることで、中小企業だけでなく、行政や住民、地域全体が連携を深める。

目的

目指す姿

方針

【目的】

オホーツク地域が雄大な自然と共に持続可能な発展を遂げ、住民一人ひとりが幸福で豊かな暮らしを営み、人生を謳歌すること。

【目指す姿】

人・地域・自然とのつながり

母なるオホーツクの自然に感謝し、ふるさとを想う気持ちで結ばれた人と人が多様性を認め支え合い、地域と地域が活発な交流で高め合う「関係づくり」

【方針】



一人ひとりの豊かさ

新しい時代を切り拓く知性・感性と、真の豊かさを知る寛容な心、そして生涯元気な身体を持つ「人づくり」

【方針】



社会経済環境の充実

持続可能で自立した元気な経済、世代を超えて安心して暮らせる社会と、次代に向けた新しいオホーツク文化の創造を目指す「環境づくり」

【方針】





「オホーツクビジョン」を企業として活用する



19の方針の内、各企業の業態や方針に合致するものを選んでいただき、対応するアイコンを使用する。

- ・ 広告
- ・ 名刺
- ・ 店舗の入り口
- ・ 看板
- ・ 配布物
- ・ 商品の包装等々。



1. 地域に貢献する企業としてPR
2. 従業員のモチベーションUP
3. 消費者など住民の地域愛醸成
4. オホーツク地域のPR
5. 新たな連携への切っ掛け

地域として期待される効果

幸福度の高い持続可能な地域社会というビジョンを共有し、
目指すべき姿を具体的にイメージすることで、…

オホーツクの方向性が明確になり、中小企業家たちを活気づける**旗(フラッグ)**になる。

中小企業だけでなく、行政や住民、地域全体が**連携**を深めることができる。

同じ旗の下に力を結集することにより**スケールメリット**を発揮する。

旗を掲げることでオホーツクの素晴らしさを強く**地域内外に発信**できる。

地域の価値を再認識し、地域に更に誇りを持って、**地域愛の醸成**ができる。

賛同者が定住、移住することで人口減に**歯止め**をかける。

…Etc.

オホーツク版
SDGs

突破口

オホーツクの求心力となるよう
共に活用しましょう！！

The background of the slide is a wide-angle photograph of a vast, flat expanse of broken sea ice under a soft, pastel sunset sky. The ice is a mix of light blue and white, with some larger, more rounded ice floes on the right side. The horizon line is visible in the distance, where the sky transitions from a pale pink to a light blue.

なぜ幸福度なのか？

経済的指標に表れない、「ここにしかない価値」=
「地域の豊かさ」が「幸福度」という尺度から見える

豊かな自然と、暮らしの豊かさ

流氷がくる
オホーツク海

おいしい食べ物

世界遺産を含む
3つの国立公園

アウトドアの聖地

四季折々の移り変り

包容力

…Etc.



地域住民を巻き込み、応援してもらえる活動が必要
地域の幸福度は企業活動と密接につながっている

地域住民

暮らしの価値を提供する顧客

目的と時間を共にする従業員

互恵関係を築く取引先

企業が追求

顧客満足

従業員満足

取引先と共存共栄

企業が良くなれば、
顧客・従業員・取引先 = 地域住民
の幸福度も高くなる！！

地域の幸福という

住民の視点で考えたビジョンを

企業活動を通じて実現する。



オホーツクビジョン の幸福度の分類

主観的幸福に必要な要素

人・地域・自然との つながり

誰か(何か)と
つながっている
ことによる
幸福

関係づくり

一人ひとりの 豊かさ

本人の知性や感
性、心身の健康
などによる
幸福

人づくり

社会経済環境 の充実

モノや条件など
外的環境によっ
て得られる
幸福

環境づくり

持続可能性

オホーツクビジョンの合意形成

アンケート

- 自由記述式 2 回
 - 記述・択一式 2 回
- 計 4 回
- 回答企業数延べ147
- 回答数延べ 908

委員会

- SWOT分析
- ビジョン成案
- 地域塾
- ファシリテーション
セミナー

ワーク ショップ

- ワールドカフェ
- OST会議
- ハッカソン

オホーツクビジョンの【目的】

オホーツク地域が
雄大な自然と共に持続可能な発展を遂げ、
住民一人ひとりが幸福で豊かな暮らしを営み、
人生を謳歌すること。

オホーツクビジョンの【目指す姿・方針】

1. 『人・地域・自然とのつながり』

母なるオホーツクの自然に感謝し、ふるさとを想う気持ちで結ばれた人と人が多様性を認め支え合い、地域と地域が活発な交流で高め合う「関係づくり」



1-1. 地域を元気にするコミュニティの活性化



1-2. 地域内外の新しいネットワークの形成



1-3. 多様な連携と共働※注1ができる社会システムの実現



1-4. 畏敬の念を持ちながら一人ひとりが参加する自然保護



1-5. 天然資源を保全し活用する持続可能な仕組みづくり

※注1) 協働は行政に市民が協力する。共働は行政と市民が共に働く。

2. 『一人ひとりの豊かさ』

新しい時代を切り拓く知性・感性と、真の豊かさを知る寛容な心、そして生涯元気な身体を持つ
「人づくり」



2-1. 心身の基礎を培う自然体験



2-2. 地域の特性を活かした体験学習



2-3. 先人から継承した地域の歴史教育



2-4. 心身を鍛えるスポーツ振興



2-5. 想像力を育む文化活動振興



2-6. 生きがいを支える生涯学習



2-7. 生涯いきいき活躍できる健康生活

3. 『社会経済環境の充実』

持続可能で自立した元気な経済、世代を超えて安心して暮らせる社会と、次代に向けた新しいオホーツク文化の創造を目指す
「環境づくり」



3-1. 地域資源の高付加価値化と地産地消^{※注2}の追求



3-2. 持続可能で効率的な社会基盤の形成



3-3. 誰もが魅力を感じる労働環境の実現



3-4. 安心して出産、子育てができる環境の整備



3-5. 時代を先導する医療・福祉の推進



3-6. 愛着が湧く文化的なまちづくり



3-7. 自然の恩恵と生活の質を大切に暮らすのすすめ

※注2) 似た言葉として「地産地消」があるが、起点を「生産」とする「地産地消」と異なり、「消費」を起点とし、地域で消費するものは地域で生産するという考え方。



オホーツクビジョンの【アクションプラン】

現在進行中のプロジェクト

・生産性UP研究会

従業員1人当たりの生産性を上げるための研究会。

今後予定しているプロジェクト

・オホーツクビジョン活用 ワークショップの開催

オホーツクビジョンを会員企業が活用するため、ワークショップ形式で自社に合った活用方法を学ぶ。

・SNSプロジェクト

インスタグラムを利用した地域内ネットワークの形成も狙った地域プロモーション。オホーツクの食、景色、文化などの写真を一般の人に投稿してもらい、その投稿をコンテストで審査・表彰する。誰でも参加可能で楽しみながらオホーツクの暮らしの魅力を写真で発信し、競い合うことでオホーツクをPR。

・空港PRプロジェクト

オホーツクの玄関口である女満別空港をPR

今後の動き

プレスリリース

随時

同友会内での発信

オホーツクビジョンの取り組みを全国の会員に発信

OV活用ワークショップ

自社での活用方法をワークショップ形式で学ぶ。高頻度で開催

普及促進グッズの製作

ステッカーやバッジなど普及促進グッズを製作
アイコン利用者に販売

アイコン毎プロジェクト

同じアイコンを選んだ企業同士で連携

KPIの設定

会員各社で活用され、浸透した段階で、具体的KPIを設定

他団体との連携

オホーツクビジョンに共鳴していただける行政や団体と今後連携したい

…Etc.

企業が主体となつて、

この地域の幸福度を高め、

オホーツクを元気に！！

OKHOTSK VISION URL

